

7月号

鳥が丘



横浜市立鳥が丘小学校

子どもたちが安心して学校生活を送るために

児童支援専任 青木 直美

雨の季節が続きます。皆様いかがお過ごしでしょうか。

先日の土曜参観では、感染対策のため参加人数や時間帯の指定をさせていただきました。参観の皆様のご協力をありがとうございました。子どもたちががんばっている様子をご覧いただけたのではないのでしょうか。

さて、新学期がスタートして3か月がたちました。1年生は入学の頃は自分の教室への行き方がわからず、6年生に案内してもらうこともありましたが、今ではすっかり慣れて、iPadを持って張り切って学校中を探検しています。数多くの教室の場所をすっかり覚え、たくさんの教職員と言葉を交わしています。上級生の子どもたちとの温かな交流も見られ、一緒に遊んだり、困った時は助けてもらったりしています。

ところで、毎日の学校生活ではさまざまなことが起こります。楽しいことばかりではなくトラブルも起こり、子どもたちがいやな気持ちになったり困ったりすることがあります。そのような時、すぐに担任に相談する子、友だちに話す子など様々です。中には、学校で話せず家に帰ってからおうちの方に相談する子もいます。そんな時に保護者の方からお子さんの話やご家庭での様子を学校にお知らせいただくことは大変ありがたいことです。引き続きよろしく願いいたします。

今、学校には、中学校ブロック（領家中・西が岡小・鳥が丘小）で、同じスクールカウンセラー（SC）、スクールソーシャルワーカー（SSW）が派遣されています。スクールカウンセラーは月2回、希望する保護者や児童の相談にのっています。スクールソーシャルワーカーは福祉の専門職で、月1回来校し、問題や困難を抱えている子どもを、学校と協力して、どうしたら困らないかを考えて、時には区役所や児童相談所、福祉機関などの力を借りながら、子どもの生活環境と学習環境を整えていく仕事をしています。

スクールカウンセラーが、心（内面）を整えて、スクールソーシャルワーカーは、環境（家庭・学校・地域）を整えているのです。スクールカウンセラーと面談を希望される方や、スクールソーシャルワーカーに相談したいことがありましたら、学校にお問い合わせください。

子どもたちが安心して楽しい学校生活を送れるように、教職員一同、保護者の皆様や地域の皆様、関係諸機関の方々と協力していきたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。

